Pioneer sound.vision.soul

コンパクトディスクプレーヤー

CDJ-1000MK2





取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、本書および別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。


⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

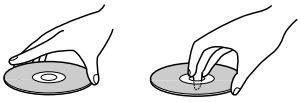

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

ディスクの取り扱いについて

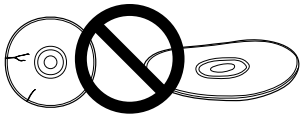
右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。
● SACDハイブリッドディスクは再生できません。

■ 信号面をさわらないようにしてください。

■ レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

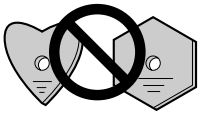


■ 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。



■ 特殊な形のディスクについて

● 本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



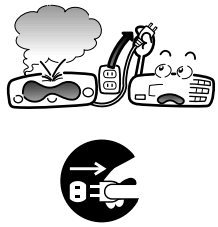
■ ディスクの保管

● 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
● ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

⚠警告

〔異常時の処置〕

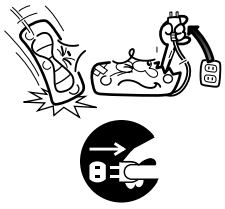
● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



〔設置〕

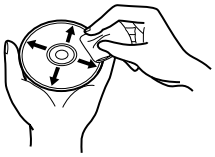
付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。



また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による火災・感電の原因となることがあります。

■ ディスクのお手入れ

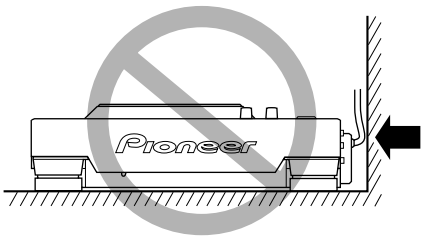
● 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
● ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお薦めします。
● レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
● 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。



設置上のご注意

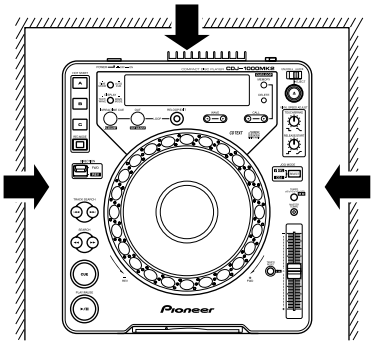
- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近傍で長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。
  また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。



振動している場所に接触させないでください！

- 放熱効果を得るため、必ず空間をあけてください。



キャリングケースについて

ジョグダイヤル天面にはスイッチが内蔵されています。
キャリングケースに収納時に、ジョグダイヤルに力が加わらないようにしてください。

結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「アフターサービスについて」(☞P.19)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

ディスクの強制イジェクトについて

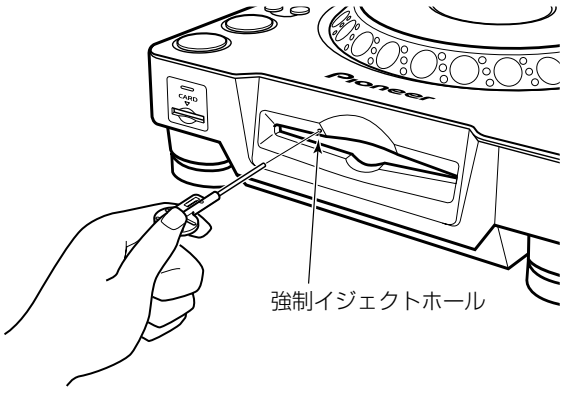
イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属品のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。
強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

① 必ずCDプレーヤーの電源を切り、1分以上待ちます。

電源を切ってすぐに強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。

- ディスクが回転したままCDプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付きます。

② 必ず付属品のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。**付属のピンは本機の底面にはめ込んであります。**
付属品のピンを強制イジェクトホールに**根元まで**押し込むと、ディスクがディスク挿入口より5～10mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。



目　次

ご使用の前に

安全上のご注意 2
設置上のご注意 3
仕　様 4
オペレーションガイド 5
接続のしかた 6
各部の名称と働き 8

基本操作

ディスクの入れ方・出し方 10
DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編 11
　オートキュー機能 11
　再生を始めるには 11
　再生を終了するには 11
　再生を一時停止するには 11
　スキップするには 11
　早送り／早戻しをするには 11
　キューポイントの設定 12
　再生スピードを変えるには 12
　マスターテンポをかける 12
　ジョグダイヤルの機能 12
　違う曲どうしをミックスする（つなぎ） 13

応用操作

応用操作編 14
　スクラッチプレイをするには 14
　スピンをするには 14
　ブレーキをするには 14
　ホットキューをするには 14
　ループ再生をするには 14
　リバース再生をするには 15
　フェーダースタートプレイについて 15
　2台のプレーヤーを使ったリレープレイ 15
　WAVE表示について 15
　CD TEXT表示について 15
CUEポイント／LOOPポイントメモリーの使い方 16
　内蔵メモリーを使う 16
　メモリーカードを使う 16
　MMCデータのコピー（MMCからMMCへの複製） 17
　内蔵メモリーのコピー
　（内蔵メモリーからMMCへの複製） 17

その他

故障？ちょっと調べてください 18
保証とアフターサービスについて 19

仕　様

1. 一般

形式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク ..... コンパクトディスク
電源 ..... AC 100V、50/60Hz
消費電力 28W
動作温度 ..... +5℃～+35℃
動作湿度 ..... 5～85%（結露のないこと）
質量（重量） 4.2kg
最大外形寸法
　..... 320（幅）×370（奥行）×105（高さ）mm

2. オーディオ部

周波数特性 ..... 4Hz ～ 20kHz
SN比 ..... 115dB 以上（JEITA）
歪率 ..... 0.006%（JEITA）

3. 付属品

- 取扱説明書 1
- 安全上のご注意 1
- 電源コード 1
- オーディオケーブル 1
- コントロールコード 1
- 強制イジェクトピン（本体底面に装着） 1
- MMCメモリーカード（16MB） 1
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、DJ用アナログプレーヤー以上の操作性／音質／機能を備えたDJ向けCDプレーヤーです。

JOG DIAL

アナログターンテーブルを超える操作感覚を実現する直径206mmの大型ダイヤル

● PITCH BEND

ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

● SCRATCH PLAY

VINYLモード時にジョグダイヤルの天面を押すと再生が停止し、ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに応じて再生します。また、ジョグダイヤルへのタッチ／リリース時の立ち上がりを調整することができ、新しいDJテクニックを可能にします。

● FRAME SEARCH

ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム(1/75秒)単位でポーズ位置を移動できます。

● SUPER FAST SEARCH

マニュアルサーチボタンまたはトラックサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチより速いサーチができます。

ON JOG DISPLAY

ジョグダイヤル中央部に、ディスクの動作状態の表示、キューポイントの位置表示、音声メモリー状態表示、ジョグタッチ検出表示、VINYLモード表示などを行います。

WAVE DISPLAY

アナログレコードならばレコード面の溝を見て曲のブレイクを探し、ミックスポイントやエンドポイントに使用していたように、曲のブレイク部分を先行して表示しますので、ブレイクポイントを予測して、操作できます。

CUE/LOOP MEMORY

本機はディスクごとのキューポイントやループポイントを、内蔵メモリーまたはマルチメディアカード(MMC)に記憶でき、ディスクに合わせて呼び出すことができます。

HOT CUE

あらかじめ3つまでのホットキューポイント(A、B、C)を設定しておくことにより、瞬時にそのポイントから再生できます。

REVERSE PLAY

ディレクション切換レバーを手前(REV位置)にすると逆方向に再生します。

TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ100mmの高性能スライダー

0.02%単位(±6%レンジ)のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

● TEMPO CONTROL RANGE

最大可変範囲が±6%、±10%、±16%、±100%(WIDE)の4段階に設定でき、より使いやすくなりました。

● TEMPO CONTROL RESET

スライダーの位置にかかわらずテンポを0%にすることができます。

● MASTER TEMPO

曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

CUE

● BACK CUE

キューポイントをメモリーして音出しした後キューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

● AUTO CUE

曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

● CUE POINT SAMPLER

メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループイン・アウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能

ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、様々な可能性が広がります。

PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わる前に警告します。

SLOT IN

トレイを出したり、ドアを開けることなしに直接ディスクを挿入できるので、クイックな頭出しができます。

FADER START

DJミキサーDJM-500(別売)、DJM-600(別売)、DJM-300(別売)またはDJM-3000(別売)と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりQUICK STARTやBACK CUEが行えます。

MULTI READ

CD-R、CD-RWディスクの再生も可能(ただし、ディスク特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズ等により正しく再生できない場合もあります)。

CD TEXT

CD TEXT対応のCDでCD TEXTを表示します。

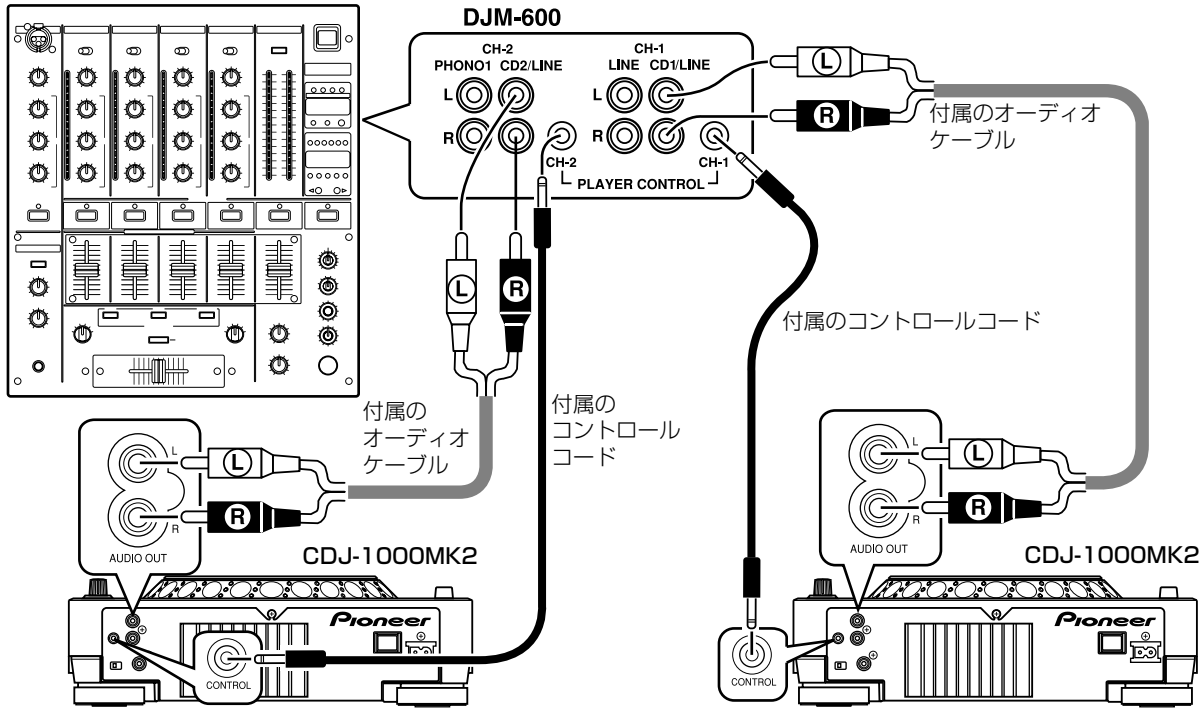
接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

1. DJミキサー(DJM-600、DJM-500、DJM-300、DJM-3000)との接続 (音声出力およびコントロール端子の接続)

付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。
また、付属のコントロールコードを接続すると、ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。

DJM-600と接続する場合



- DJM-300、DJM-500と接続する場合も上記と同様にCD1とA PLAYER、CD2とB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。DJM-3000と接続する場合はA PLAYERをCH-1のLINE1、B PLAYERをCH-2のLINE3に接続してください。

2. リレープレイをする場合のコントロールコードの接続

付属のコントロールコードで2台のDJ用プレーヤーのコントロール端子どうしを接続すると、交互演奏を自動的に行うことができます。(☞P.15)

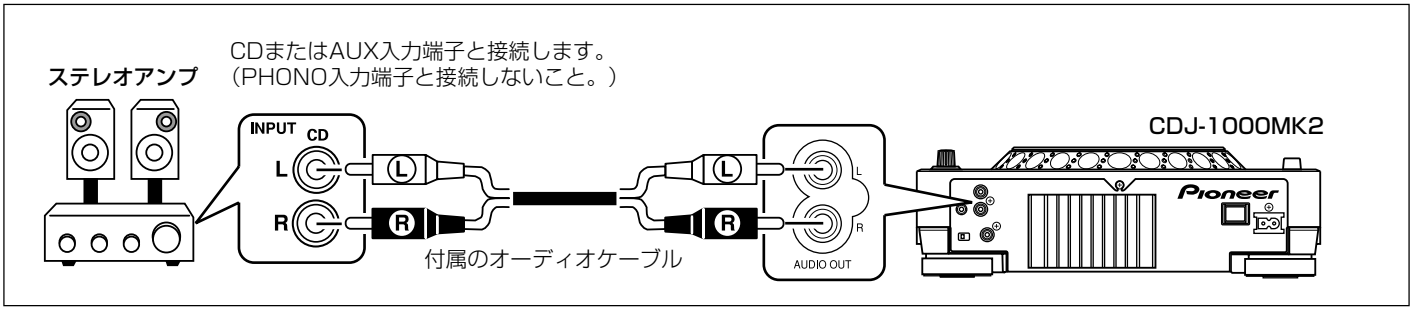


3. その他の機器との接続

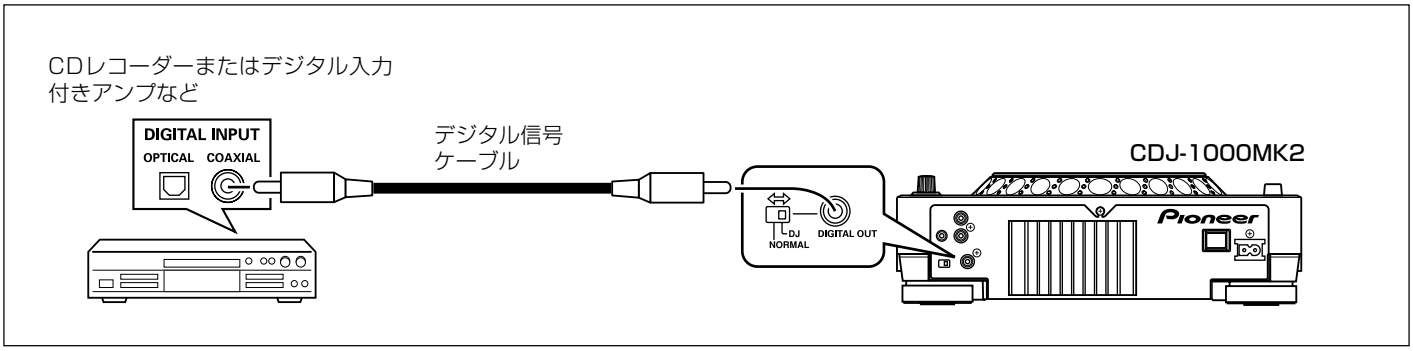
Ⓐ その他のミキサーとの接続

本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続します。
(PHONO端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。)

Ⓑ ステレオアンプとの接続（DJミキサーを使わない場合）



Ⓒ デジタル入力端子付き機器との接続



■ DIGITAL OUT モードスイッチ（後面パネル）の設定

通常、DJ用CDプレーヤーとして使用するときは、「**DJ**」位置にしてください。

DJにしたとき：

- デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます。ただし、モードは44.1kHz固定です。CDレコーダーなど接続される機器によっては録音機能等が制限される場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。
- DIGITAL OUT モードスイッチを「**DJ**」にした時点で、表示部に「**D-OUT**」と表示後「**DJ**」と表示されます。

NORMALにしたとき：

- デジタル出力端子からはサブコードを含むデジタルデータが出力されますが、本機のDJ機能が大幅に制限されます。☞P.8
- DIGITAL OUT モードスイッチを「**NORMAL**」にした時点で、表示部に「**D-OUT**」と表示後「**NORMAL**」と表示されます。
- 使用不可の操作をすると、表示部に「**D-OUT**」と表示後「**NORMAL**」と表示されます。
- 電源をオンしたとき、DIGITAL OUT モードスイッチが「**NORMAL**」になっていると、表示部に「**D-OUT**」と表示後「**NORMAL**」と表示されます。

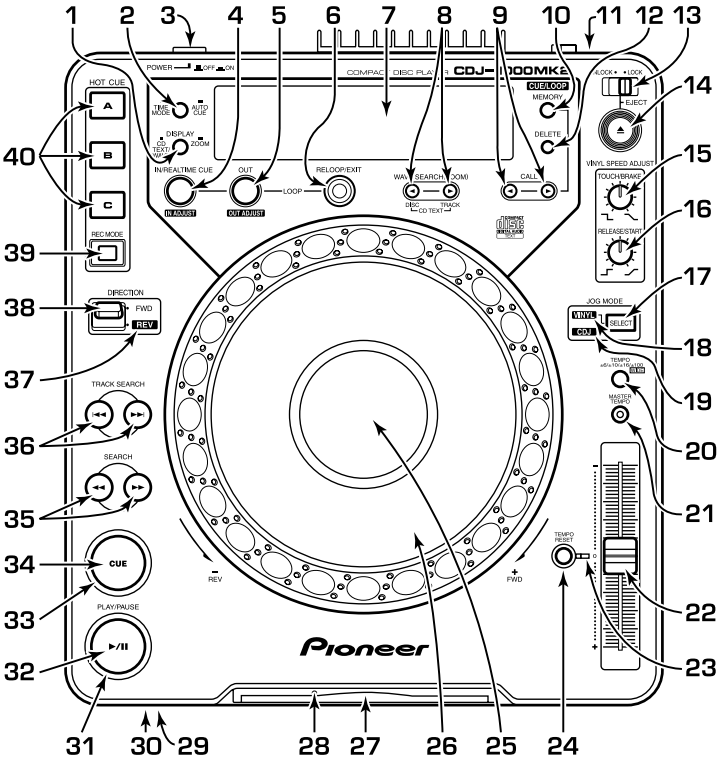
ご注意：
DIGITAL OUT モードスイッチを「**NORMAL**」にすると、DJ機能（キュー、ループ、リ・ループ、テンポ調整、ホットキュー、ジョグダイヤル、リバース再生等）が働きません。また、ポーズは音出しポーズではなく無音になります。

4. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、プレーヤー部後面にあるACインレットに付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

各部の名称と働き

＊マークを付けた操作ボタン類はDIGITAL OUT モードスイッチがNORMALの場合は機能しません。



1 表示切換ボタン(＊)
(DISPLAY CD TEXT/WAVE(ZOOM))
押すたびに、WAVE表示とCD-TEXTのディスク／曲タイトル表示を切り換えます。ボタンを1秒以上押し続けるとWAVE表示を1曲フルスケールと2倍ズームスケールに切り換えます。

2 タイムモード／オートキューボタン(＊)
(TIME MODE/AUTO CUE)
TIME MODE：
押すたびに、表示部の時間表示が現在の再生曲の経過時間と残り時間(REMAIN)に切り換わります。
● 電源をオフしても、TIME MODEは記憶されます。
AUTO CUE：
1秒以上押し続けるとオートキュー解除／設定を切り換えます。☞P.11
● 電源をオフしても、AUTO CUEのオン／オフは記憶されます。

3 電源スイッチ(POWER ■OFF/▂ON)
本機の後面にあります。

4 ループイン／リアルタイムキュー／インポイント修正ボタン／インジケーター(＊)
(LOOP IN/REALTIME CUE/IN ADJUST)
リアルタイムキュー ☞P.12
ループインポイント入力 ☞P.14
ループインポイント修正 ☞P.14

5 ループアウト／アウトポイント修正ボタン／インジケーター(＊)(LOOP OUT/OUT ADJUST)
ループアウトポイント入力 ☞P.14
ループアウトポイント修正 ☞P.14

6 リ・ループ／イグジットボタン(＊)(RELOOP/EXIT) ☞P.14

7 表示部☞P.9‥‥51～69

8 ウエーブ移動/CD TEXT切換ボタン(＊)
(WAVE SEARCH(ZOOM)/CD TEXT◄、►) ☞P.15
WAVEがズーム表示のときに押すと表示部分を移動します。
TEXT表示のとき◄ボタンを押すとディスクタイトルを表示し、►ボタンを押すとトラックタイトルを表示します。

9 キュー／ループコールボタン(＊)
(CUE/LOOP CALL◄、►) ☞P.16
内蔵メモリーまたは外部メモリー(メモリーカード装着)に記憶されたキューポイントやループポイントを呼び出します。(メモリーカードが装着されている場合は外部メモリーが優先されます。)

10 キュー／ループメモリーボタン(＊)
(CUE/LOOP MEMORY) ☞P.16
内蔵メモリーまたは外部メモリー(メモリーカード装着)に、キューポイントやループポイントを記憶します。(メモリーカードが装着されている場合は外部メモリーが優先されます。)

11 デジタルアウトモードスイッチ
(DIGITAL OUT DJ/NORMAL) ☞P.7
本機の後面にあります。
「DJ」のときは、デジタル出力端子からはオーディオデータのみが出力されます。「NORMAL」にすると、サブコードを含むデジタルデータが出力されますが、DJ機能は働かず(＊マークを付けた操作ボタン類は機能しません)、ポーズは音出しではなく無音になります。

12 キュー／ループデリートボタン(＊)
(CUE/LOOP DELETE) ☞P.16、17
内蔵メモリーまたは外部メモリー(メモリーカード装着)に記憶された、キューポイントやループポイントを消去します。(メモリーカードが装着されている場合は外部メモリーが優先されます。)

13 イジェクトモード切換スイッチ(EJECT UNLOCK/LOCK)
UNLOCK:プレイ中でもボタンを押すと、ディスクをイジェクトします。
LOCK:プレイ中はボタンを押しても、ディスクをイジェクトできません。ポーズ状態にしてから押すと、ディスクをイジェクトできます。

14 イジェクトボタン(EJECT▲)
ボタンを押すとディスクの回転が止まってから、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
イジェクトモード切換スイッチが「LOCK」位置のときは、ポーズ状態にしてからボタンを押さないと、ディスクが出てきません。

15 バイナルモードタッチ／ブレーキ応答調整つまみ(＊)
(VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE)
ジョグモード切換スイッチが「VINYL」位置のとき、ジョグダイヤルの天面を押したときに、再生が止まるまでの減速スピードを調整します。左に回すと素早く止まり、右に回すとゆっくりと減速して止まります。

16 バイナルモードリリース／スタート応答調整つまみ(＊)
(VINYL SPEED ADJUST RELEASE/START)
ジョグモード切換スイッチが「VINYL」位置のとき、ジョグダイヤルの天面から手を離したときに、再生が立ち上がる加速スピードを調整します。左に回すと素早く定速に達し、右に回すとゆっくりと加速して定速になります。

17 ジョグモード切換ボタン(＊)(JOG MODE SELECT)
VINYLモード:プレイ中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回転すると回転に応じた音声が出ます。
● 電源をオフしてもジョグモードは記憶されます。
CDJモード:ジョグダイヤルの天面を押しても、上記の動作はしません。

18 VINYLインジケーター(＊)
ジョグモードがVINYLモードのとき点灯します。

19 CDJインジケーター(＊)
ジョグモードがCDJモードのとき点灯します。

20 テンポコントロールレンジ切換ボタン(＊)
(TEMPO ±6/±10/±16/±100 WIDE)
押す度に、テンポ調整つまみの可変範囲(±6%/±10%/±16%/±100%)が切り換わります。

21 マスターテンポボタン／インジケーター(＊)
(MASTER TEMPO)☞P.12
押すたびにマスターテンポ機能をオン／オフします。

22 テンポ調整つまみ(＊)
手前(+)に動かすと演奏テンポが早くなり、奥(−)に動かすと遅くなります。

23 テンポリセットインジケーター(＊)
テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ調整が「0」(通常テンポ)になっていることを示します。

24 テンポリセットボタン(＊)(TEMPO RESET)
テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ調整を「0」(通常テンポ)にします。もう一度押すと解除されます。

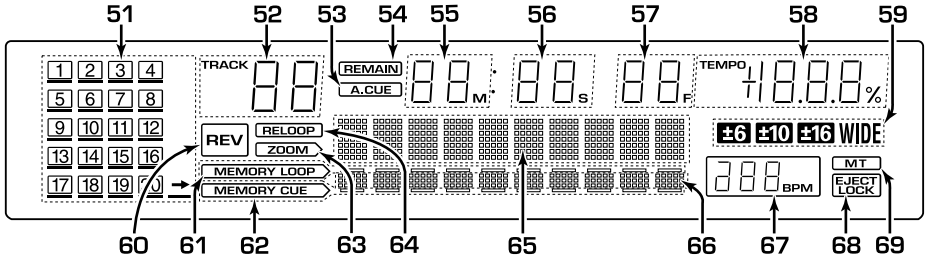
25 ジョグダイヤル表示部 ☞P.9‥‥81～85

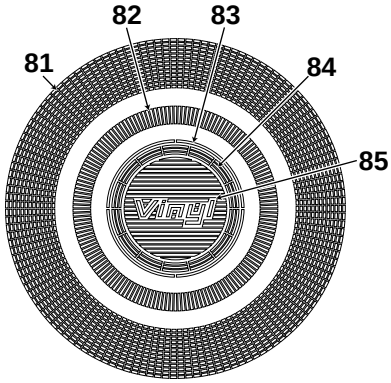
26 ジョグダイヤル(＊)(+FWD/−REV) ☞P.12、13

27 ディスク挿入口 ☞P.10

28 強制イジェクトホール ☞P.3
29 メモリーカード挿入口 ☞P.16
30 メモリーカードインジケーター ☞P.16
MMCカードがアクセスされているときに点灯します。
● 点灯中にカードを取り出したり電源を切らないでください。
31 プレイ/ポーズインジケーター
プレイ時に点灯し、ポーズ時に点滅します。
32 プレイ/ポーズボタン(PLAY/PAUSE▶/II) ☞P.11
33 キューインジケーター(＊) ☞P.12
キューポイントが設定された状態で、サーチ中以外に点灯します。ポーズ状態の時に点滅します。
34 キューボタン(＊)(CUE)
【キューポイントの設定】 ☞P.12
【バックキュー】 ☞P.12
【キューポイントサンプラー】 ☞P.12
35 サーチボタン(SEARCH◀◀、▶▶) ☞P.11
36 トラックサーチボタン(TRACK SEARCH I◀◀、▶▶I) ☞P.11
37 リバースインジケーター(＊)(REV)
ディレクション切換スイッチがリバースのとき点灯します。
38 ディレクション切換スイッチ(＊)
(DIRECTION FWD/REV)
REV位置(手前)にするとリバース再生します。
39 ホットキュー 記録モードボタン(＊)
(HOT CUE REC MODE) ☞P.14
ホットキューボタンの機能(記録/呼び出し)を切り換えます。
● 電源オン時は呼び出しモードです。
40 ホットキューボタン/インジケーター(＊)
(HOT CUE A、B、C) ☞P.14
A、B、Cが赤色点灯時はホットキューポイント記録モードです。
A、B、Cが緑色点灯時は呼び出しモードで、ボタンを押すとホットキューポイントから再生できます。消灯はホットキューポイントが記録されていない状態です。

表示部



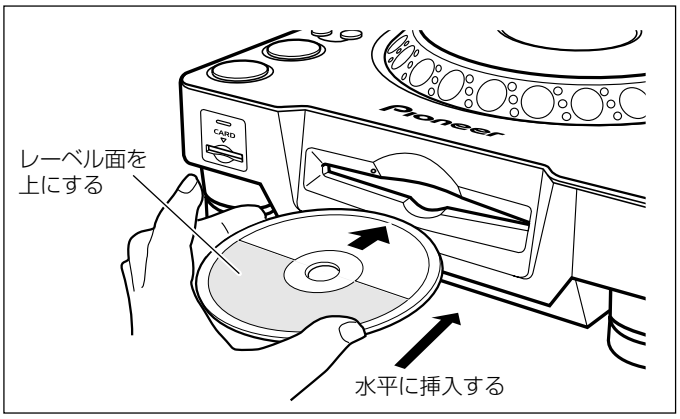


51 カレンダー表示(1〜20、➡)
再生トラック以降のトラック番号が点灯します。21以降は➡が点灯します。キューポイントやループがメモリーされているトラック番号の下にアンダーバーが点灯します。
52 トラック番号表示(TRACK)
トラック番号を表示します。
53 オートキュー表示(A.CUE)
オートキューがオンのときに点灯します。
54 リメイン表示(REMAIN)
曲の残り時間であることを示します。
55 時間表示(分)(M)
56 時間表示(秒)(S)
57 フレーム表示(F)
75フレームで1秒です。
58 演奏速度表示(TEMPO)
テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を表示します。
59 テンポ調整レンジ表示(±6、±10、±16、WIDE)
テンポコントロールレンジ切換ボタンで選んだテンポ調整つまみの可変範囲を示します。可変範囲が±100%のときWIDEが点灯します。
60 リバース表示(REV)
ディレクション切換スイッチがリバース(REV位置)であることを示します。
61 ループメモリー表示(MEMORY LOOP)
選択されたトラックのループメモリー位置を再生位置表示の上側に表示します(10ポイント)。 同じブロックに複数のメモリーポイントがある場合でも、表示は1つのみ点灯します。
62 キューメモリー表示(MEMORY CUE)
選択されたトラックのキューメモリー位置を再生位置表示の下側に表示します(10ポイント)。 同じブロックに複数のメモリーポイントがある場合でも、表示は1つのみ点灯します。
63 ズーム表示(ZOOM)
WAVEをズームで表示していることを示します。
64 リループ表示(RELOOP)
リループスタンバイ時およびループ動作中に点灯します。
65 WAVE表示/文字表示
WAVE表示時は再生曲の音楽レベルを表示します。
1曲フルスケール表示とズームで部分表示できます。ズーム表示のときは、表示範囲をウエーブ移動ボタン(WAVE SEARCH(ZOOM)◀、▶)で移動します。
文字表示時はCD TEXTを表示します。
表示内容は、英語のディスクタイトル/トラックタイトルで、最大48文字までスクロール表示します。
66 再生位置表示
再生曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールまたは2倍ズームスケールのバーグラフとして表示します。
● 1曲フルスケールで経過時間表示のときは、左から点灯します。
● 1曲フルスケールで残り時間表示のときは、左から消灯します。
● 曲の残り時間が30秒以下になるとゆっくり点滅し、15秒以下になると早く点滅します。
● 2倍ズームスケールのときは、ウエーブ表示に対する再生位置のみが点灯します。
67 BPM表示
再生中の曲のBPMを表示します。
曲によってはBPMカウンターでBPMを測定できない場合があります。
68 イジェクトロック表示(EJECT LOCK)
イジェクトモード切換スイッチがLOCK位置のとき点灯します。
69 マスターテンポ表示(MT)
マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

ジョグダイヤル表示部

81 動作表示
一周135フレームとして、プレイ位置を表示します。再生時は回転し、ポーズ中には停止します。
82 キューポイント位置表示
キューポイントの位置を表示します。
83 音声メモリー状態表示
音声メモリー書き込み中は点滅します。
84 ジョグタッチ検出表示
VINYLモード時、ジョグダイヤル天面を押したときに点灯します。
85 VINYLモード表示(Vinyl)
VINYLモードのときに点灯します。

ディスクの入れ方・出し方



1. 後面の電源スイッチをオンにする。

電源スイッチがオフの状態でディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

2. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
- 8cmディスクの場合はアダプターを装着してください。

本機はディスクを高速回転することにより、高いパフォーマンスを得ています。アダプターを装着した8cmディスクの場合、安全のため回転速度が制限されるため、スクラッチ、リバース等の動作スピードが低下することがあります。

- 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
- ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

3. イジェクトモード切換スイッチがUNLOCK位置のときは、EJECTボタン(▲)を押してディスクを取り出す。
イジェクトモード切換スイッチがLOCK位置のときは、再生中にPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押すかまたは、キューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して(バックキュー)からEJECTボタン(▲)を押して、ディスクを取り出す。

- ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
- イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。☞ P. 3

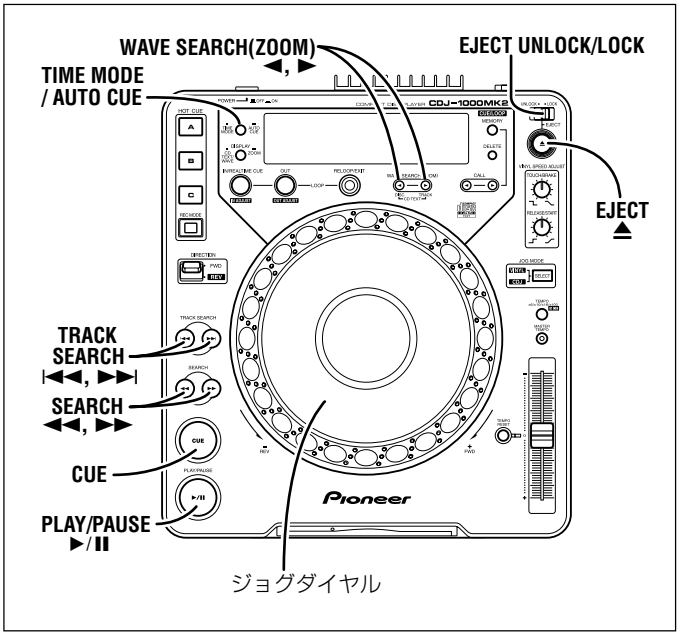
ご注意：
「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

CDシングル(8cmディスク)を再生するときのご注意：

① CDシングル(8cmディスク)を再生するときは、必ず8cm CDアダプターを使用してください。CDプレーヤーに挿入する前に、ディスクがツメに正しく装着されていることを必ず確認してください。誤って、アダプターなしで8cmディスクを挿入したときは、直ちにイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。イジェクトボタンを一度押してもディスクが出てこない場合は、もう一度押してください。

② 8cmディスク用アダプターは COMPACT DISC DIGITAL AUDIO マークの付いたもの(推奨規格適合品)を使用してください。また、アダプターを装着したときに、ディスクが空回りしやすいものや、反り、ねじれがあるものは使用しないでください。

DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編



オートキュー機能(※)

ディスクをセットした時とトラックサーチの時およびジョグモード(CDJ/VINYL)がCDJモードで曲のチェンジの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定(P. 12)を自動的に行う機能です。

● **オン／オフするには**

TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン／オフできます。

表示部のオートキューインジケーター(A.CUE)が点灯するとオンです。

- 電源をオフしてもAUTO CUEのオン／オフ状態は記憶されます。
- オートキューレベルを可変することができます。

■ オートキューレベルの可変

1. TIME MODE/AUTO CUEボタンを5秒以上押し続ける。

- 表示部に「A.CUE−60dB」(初期状態の場合)と表示されます。

2. WAVE SEARCHボタン(◀、▶)を押して値を変更する。

- −36dB、−42dB、−48dB、−54dB、−60dB、−66dB、−72dB、−78dBから選べます。
- TIME MODE/AUTO CUEボタンを押すか、15秒間放置するとレベル可変モードは解除されます。
- 電源をオフしても、設定レベルは記憶されます。

再生を始めるには

1. プレーヤーにディスクを入れる。

本機はディスクを高速回転させて高いパフォーマンスを得ています。このため、ディスクのローディングに数秒間を要します。

2. オートキュー機能オン時は、PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。

- 表示部の時間表示が点灯してから押してください。表示したトラックの無音部分を飛ばして、瞬時に再生を始めます。

1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをします。キューインジケーター(CUE)が点灯し、PLAY/PAUSEボタンの▶/IIインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。

PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押すと次曲の再生がスタートします。

オートキュー機能オフ時は、一曲目から再生が自動的に始まります。

- オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に再生を続けます。
- 最終曲の再生が終わると、再生を終了します。

再生を終了するには

1. イジェクトモード切換スイッチがUNLOCK位置のときは、EJECTボタン(▲)を押す。

イジェクトモード切換スイッチがLOCK位置のときは、再生中にPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押すかまたは、キューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して(バックキュー)からEJECTボタン(▲)を押す。

- 再生を終了し、ディスクが出てきます。
- 本機にはストップボタンはありません。

再生を一時停止するには

再生中にPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。

- PLAY/PAUSEボタンのインジケーターとキューインジケーター(CUE)が点滅し、再生を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、ボタンのインジケーターが点灯し、再生を再開します。
- CDJモードでは、ポーズモード中も再生音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ポーズ状態で80分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSEボタンを押せば再生を再開します。

スキップするには

■ トラックサーチボタン(I◀◀、▶▶I)による操作

TRACK SEARCHボタン(I◀◀、▶▶I)を押す。

- 1回押す毎に、指定方向の曲にスキップします(再生中に前の曲にスキップするには、続けて2回I◀◀を押してください)。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで続けて2回I◀◀を押すと最終曲にスキップします。
- 最終曲から▶▶Iを押すと最初の曲(トラックNo.1)にスキップします。

■ スーパー・ファースト・トラックサーチ

TRACK SEARCHボタン(I◀◀、▶▶I)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速スキップ動作をするモードに入ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

早送り／早戻しをするには

■ サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

▶▶ボタンを押している間、早送りします。

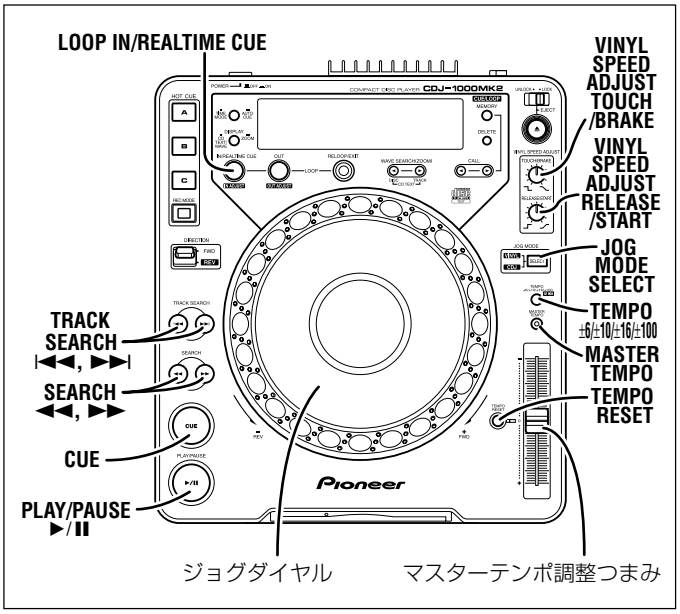
◀◀ボタンを押している間、早戻しします。

■ スーパー・ファースト・サーチ

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

※マークの付いた機能は後面のDIGITAL OUT モードスイッチをNORMALにすると、動作しません。



キューポイントの設定(※)

キューポイントをメモリーしておくと、再生中にCUEボタンを押してキューポイントで再生待機状態にすることができます。

■ CDJモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して一時停止状態にする。
2. キューポイントの正確な位置を探す。
   - **フレームナンバーでキューポイントを決める。**
     1フレーム単位(75フレーム=1秒)で頭出しの位置が設定できます。
     ジョグダイヤルまたはサーチボタン(◄◄、►►)を操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル1回転で135フレーム、サーチボタンを押すと1フレーム、指定方向にフレームを送ります。
   - **音声を聞いてキューポイントを決める。**
     ジョグダイヤルをゆっくり回して、再生を開始したい音声の直前まで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。
3. フレームナンバー、または音声が目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。
   - 音声がミュートされ、表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
   - 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアーされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。
   - 設定してある頭出しポイントに戻ります。
2. サーチボタン(◄◄、►►)を押して音出しポーズ状態にする。
3. 上記の「キューポイントの設定(CDJモードの場合)」の手順2、手順3を行う。

■ VINYLモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、ジョグダイヤルの天面を押さえるかPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して一時停止状態にする。
2. ジョグダイヤルの天面を押さえたまま回し、再生を開始したい音声の直前まで戻す。
3. 音声が目的の頭出しポイントになったら、ジョグダイヤルの天面を押さえたままCUEボタンを押す。
   - 表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
   - 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアーされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。
   - 設定してある頭出しポイントに戻ります。
2. 上記の「キューポイントの設定(VINYLモードの場合)」の手順2、手順3を行う。
   - CDJモードと同様に、サーチボタン(◄◄、►►)で修正することもできます。

■ リアルタイムキュー

再生中、頭出ししたいポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。

- このポイントが新たなキューポイントとして記憶されます。

■ キューポイントを確認するには(キューポイントサンプラー)

キューポイントを設定後、CUEボタンを押す。

- CUEボタンを押しているあいだ、頭出しした音を聞くことができます。

■ キューポイントに戻るには(バックキュー)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
   - 設定したキューポイントに戻ります。
2. PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。
   - キューポイントから瞬時に再生します。

再生スピードを変えるには(※)

テンポ調整つまみを前後にスライドする。

手前(+)に動かすと再生が早くなり、奥(−)に動かすと再生が遅くなります。

- 再生スピード(テンポ)の変化率が表示部に表示されます。
- 再生スピードを変えても音程を変えないで保つことができます(☞「マスターテンポをかける」)。

■ テンポ調整範囲の選択

TEMPO ±6/±10/±16/±100 WIDEボタンを押す。

押す度にテンポ調整つまみの可変範囲(±6%/±10%/±16%/±100%)が切り換わります。±6%では0.02%単位、±10%では0.05%単位、±16%では0.05%単位、±100%では0.5%単位で調整できます。

- 可変範囲の設定値は表示部に表示されます(±100%時はWIDEと表示されます)。

■ テンポリセット

TEMPO RESETボタンを押す。

テンポリセットインジケーターが点灯し、テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ変化率が「0」(通常テンポ)になります。

- もう一度、TEMPO RESETボタンを押すと解除されます(テンポ調整つまみの設定スピードに戻る)。

マスターテンポをかける(※)

再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。

MASTER TEMPOボタンと表示部の"MT"が点灯し、テンポ調整つまみでスピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。

ジョグダイヤルの機能(※)

1. 再生中に回す。(ピッチベンド)
   (JOG MODE SELECTボタンがVINYLの場合は、ジョグダイヤルの側面を操作してください。天面を押すと別の動作になります。)
   - 回転させた分、加速(FWD+)・減速(REV−)します。リバース再生モードでは、加速(REV−)・減速(FWD+)になります。
   - 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。
2. 再生中に回す。(スクラッチプレイ)
   応用操作編の「スクラッチプレイをするには」をご覧ください。

3. ポーズ時に回す。(フレームサーチ)
(ジョグモード(CDJ/VINYL)がCDJの場合は音出しポーズになります。ジョグモード(CDJ/VINYL)がVINYLの場合は音無しポーズになり、ジョグダイヤルの回転スピードに応じたスピードでCDの音声を再生します。)
- 1フレーム単位でサーチします。
- ジョグダイヤルを1回転すると1.8秒分(135フレーム)のCD音声が再生されます。

4. 再生中またはポーズ時に回す。(スピン)
応用操作編の「スピンをするには」をご覧ください。

5. 再生中、サーチボタンを押しながら回す。(スーパー・ファースト・サーチ)
SEARCHボタン(◄◄、►►)を押したままジョグダイヤルをサーチしたい方向に回すと、回転方向にさらに高速でサーチします。

6. トラックサーチボタンを押しながら回す。(スーパー・ファースト・トラックサーチ)
TRACK SEARCH(I◄◄、►►I)ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをトラックサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転量に従ってさらに高速なトラックサーチをすることができます。

ご注意:
ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物をのせたり、強い力を加えないようにしてください。飲料などをのせないでください。こぼれて製品内部に入り、故障を起こすことがあります。

違う曲どうしをミックスする(つなぎ)

(例) 現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
- トリム、CHフェーダー、マスターVRを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。

1. DJミキサーのCROSS FADERつまみを左側(CH1側)にしておく。
- 曲Aがスピーカーから出ています。

2. プレーヤーCD2にCDをセットする。

3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(I◄◄、►►I)を押して曲Bを選ぶ。

4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。

5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
- スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。

6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。
① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。
- ジョグモード(CDJ/VINYL)がCDJの場合は音出しポーズ状態になり、VINYLの場合は音無しポーズ状態になります。

② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。
③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
- 無音になり、頭出しを完了します。

7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。
- スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
- ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。

8. プレーヤーのTEMPOつまみを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Par Minutes)を合わせる。
曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のTEMPOつまみを動かす。
- BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。

9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
- プレーヤーCD2はキューポイントでポーズ状態になります。

10.プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押す。
- 曲Bがスタートします。

11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERつまみを徐々に右側に動かす。
- スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
- DJミキサーのCROSS FADERつまみが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

■ ロングミックスプレイ

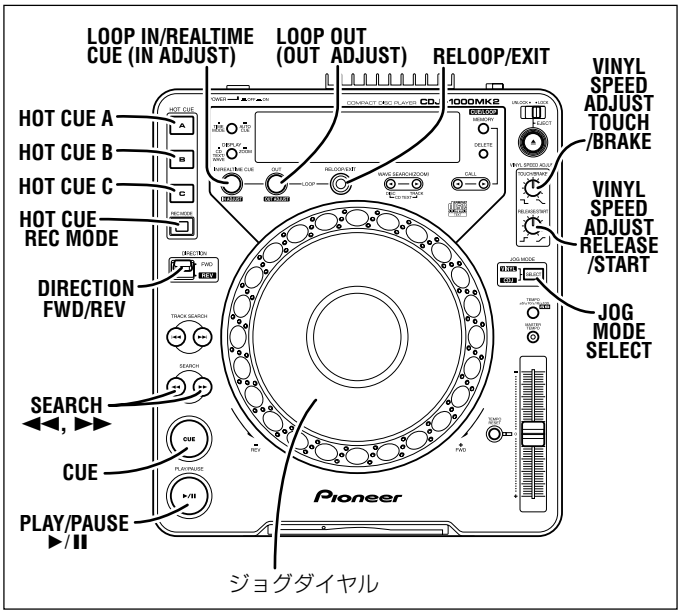
BPMさえ合っていれば、CROSS FADERつまみが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

■ フェーダースタートプレイ

DJM-600/DJM-500/DJM-300/DJM-3000のクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。さらに、CROSS FADERつまみを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

※マークの付いた機能は後面のDIGITAL OUT モードスイッチをNORMALにすると、動作しません。

応用操作編



スクラッチプレイをするには(※)

ジョグモードをVINYLにすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じた再生ができます。

1. JOG MODO SELECTボタンを押して、VINYLインジケーターを点灯する。
2. CDを再生中にジョグダイヤルの天面を押す。
   - 再生が減速されて停止します(停止するまでの減速スピード(応答特性)は別途設定できます)。再生が減速されて停止する前にジョグダイヤルを回すと、減速途中で音声が停止し、手順3のジョグダイヤルの回転に応じた再生になります。
3. ジョグダイヤルを再生したい方向と速さで回す。
   - ジョグダイヤルの回転スピードと回転方向に応じたスピードと方向でCDが再生されます。
4. ジョグダイヤルの天面から手を離す。
   - CDの再生が加・減速されて元の状態に戻ります(CDの再生が元の状態に戻るまでの加・減速スピード(応答特性)は別途設定できます)。

■ ジョグダイヤルの天面を押した時に、再生が減速して停止するまでの時間を設定する

VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKEつまみを回す。

- CDの再生が停止するまでの減速スピード(応答特性)が調節できます。

■ ジョグダイヤルの天面から手を離した時に、再生が元の状態に戻るまでの時間を設定する

VINYL SPEED ADJUST RELEASE/STARTつまみを回す。

- CDの再生が元の状態に戻るまでの加・減速スピード(応答特性)を調節できます。

スピンをするには(※)

VINYLモードでプレイ中に、ジョグダイヤルの天面を押すか、PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押してポーズにした後、ジョグダイヤルを早く回すと、ジョグダイヤルから手を離しても回転に応じたスピードと方向でCDが再生されます。

ブレーキをするには(※)

- VINYLモードでプレイ中にPLAY/PAUSEボタン(►/II)を押してポーズにすると、VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKEつまみに応じた速度で音声が止まります。
- もう一度PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押してプレイにすると、VINYL SPEED ADJUST RELEASE/STARTつまみに応じた速度で音声が立ち上がります。

ホットキューをするには(※)

あらかじめ3つまでのホットキューポイント(A、B、C)を設定しておくことにより、瞬時にそのポイントから再生できます。

■ ホットキューポイントの設定

1. HOT CUE REC MODEボタンを押して、HOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを赤色に点灯させる。
2. 再生中またはポーズ中に設定したいところで記録したいボタン(A、B、C)を押す。
   - 押されたボタンが2秒間赤色点滅します。
   - 設定内容は、メモリーカード(MMC)に自動的に記録されます。☞ P. 17

■ ホットキューの開始

1. HOT CUE REC MODEボタンを押して、HOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを緑色に点灯させる。
   - ホットキューポイントが記録されていないボタンは点灯しません。
2. 再生中またはポーズ中またはキュースタンバイ中にスタートポイントを設定したボタン(A、B、C)を押す。
   - あらかじめ記録した場所から再生します。
   - ループプレイは解除されます。
   - CDを挿入したときに、以前にメモリーカード(MMC)に記録されたホットキューポイントを復帰することができます。☞ P. 17

ループ再生をするには(※)

■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して再生する。
2. 再生中に、ループインポイントでLOOP IN/REALTIME CUEボタンを押す。
   - あらかじめ記録してあるキューポイントをループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
3. 再生中、ループアウトポイントでLOOP OUTボタンを押す。
   - インポイントからアウトポイント間でループプレイを開始します。

■ ループを抜け出す(解除する)には

ループプレイ中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

■ ループインポイントを変えるには

1. ループプレイ中に、LOOP IN/REALTIME CUE (IN ADJUST)ボタンを押す。
   - 表示部にインポイントの時間が表示され、LOOP INボタンは速い点滅に、LOOP OUTボタンは消灯に変わります。
2. SEARCHボタン(◄◄、►►)を押す、またはジョグダイヤルを回す。
   - 1フレーム単位で±30フレームまでループインポイントが移動します。
   - LOOP IN/REALTIME CUEボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループプレイに戻ります。

■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループプレイ中に、LOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンを押す。
   - 表示部にアウトポイントの時間が表示され、LOOP OUTボタンは速い点滅に、LOOP IN/REALTIME CUEボタンは消灯に変わります。
2. SEARCHボタン(◄◄、►►)を押す、またはジョグダイヤルを回す。
   - 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
   - ループアウトポイントはループインポイントの前には移動できません。
   - LOOP OUTボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループプレイに戻ります。

■ 再度ループに戻るには(リ・ループ)

ループ解除後、再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- 前に設定したループインポイントに戻り、ループプレイを再開します。

リバース再生をするには(※)

DIRECTION FWD/REVスイッチをREV位置(手前)にする。

REVインジケーターが点灯し、逆方向に再生します。

- ジョグダイヤルの回転による演奏の加・減速が逆向きになります。
- リバース再生中は、CUE/LOOPの入力とリ・ループおよびHOT CUEポイントの設定はできません。
- 15秒以上のループはリバース再生できません。
- トラックサーチ、ループ等を行うと、1〜2秒間音声メモリー書き込み表示(ジョグダイヤル表示部)が点滅して、スクラッチ／リバースの操作が行えないことがあります。

フェーダースタートプレイについて(※)

本機のコントロール端子(CONTROL)とDJミキサーDJM-300、DJM-500、DJM-600、DJM-3000のコントロール端子(CONTROL) を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレーヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレーヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレーヤーをキューポイントまで戻す(バックキューする)ことができます。(接続方法は6ページを参照してください。)

2台のプレーヤーを使ったリレープレイ(※)

本機および他のCDJシリーズのCDプレーヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続するとリレープレイが可能になります。☞ P. 6

- 2台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします(表示部のA.CUEインジケーターが点灯)。
- オーディオミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1. 先に再生するプレーヤーの再生を開始する。

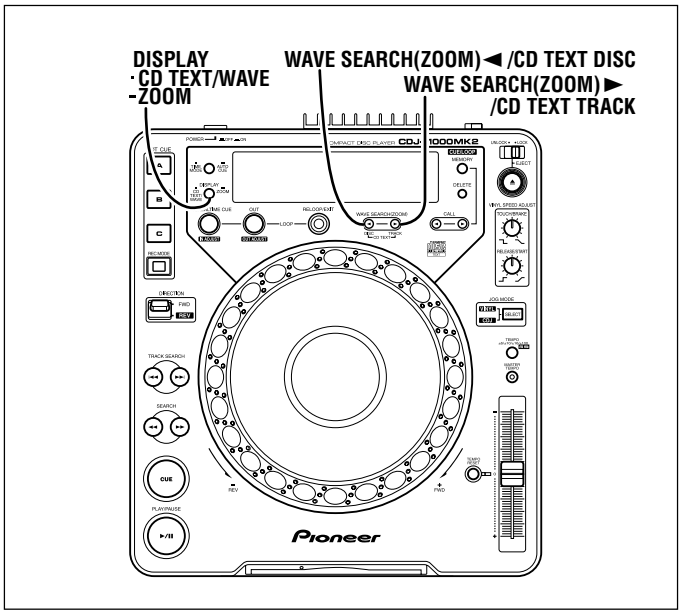
2. 再生中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に再生を開始する。

3. 始めに再生していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。

- この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互再生ができます。
- 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と再生することができます。
- 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。
  ☞ P. 12「キューポイントの設定」参照

ご注意

- **2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じオーディオミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。**
- **再生中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが演奏をはじめることがあります。**
- **フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。**



WAVE表示について(※)

曲の低音ビート(バスドラム等)の変化をグラフ表示するので、曲のブレイク部や終了部をあらかじめ知ることができます。

- 再生曲が変わってからすべてのWAVEが表示されるまでには、しばらく時間がかかります。マルチメディアカード(MMC)にWAVE表示を記憶すると、次回からすぐにWAVEが表示されます。☞ P. 17
- 低音ビートレベルの変化が少ない場合は、ブレイク部が正しく表示されないことがあります。
- 1曲の長さが30分を超える曲を再生した場合、再生速度によってはWAVE表示がされない場合があります。

■ WAVE表示モードの切換

1曲フルスケール表示と2倍ズームスケール表示を選択できます。

DISPLAY CD TEXT/WAVE(ZOOM)ボタンを1秒以上押す。

- 1曲フルスケール表示と2倍ズームスケール表示が交互に切り換わります。
- 2倍ズームスケール表示のときは、WAVE SEARCH(ZOOM)(◄、►) ボタンを押して表示部分を移動できます。

CD TEXT表示について(※)

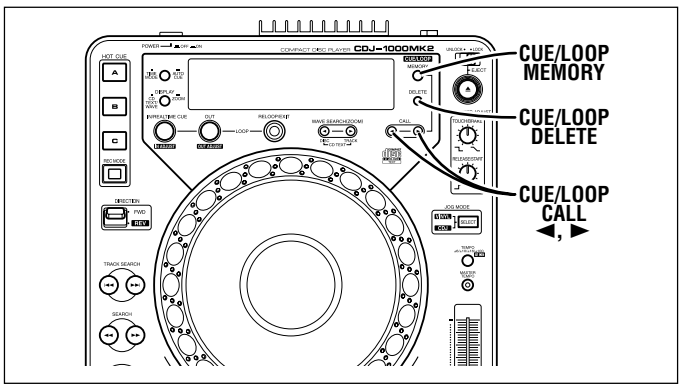
CD TEXT対応のCDで英語のディスクタイトル／トラックタイトルを最大48文字までスクロール表示します。

- トラックサーチを行うと、トラックタイトルを表示します。
- CD TEXT DISC◄ボタンを押すとディスクタイトルを表示します。
- CD TEXT TRACK►ボタンを押すとトラックタイトルを表示します。

※マークの付いた機能は後面のDIGITAL OUT モードスイッチをNORMALにすると、動作しません。

CUEポイント／LOOPポイントメモリーの使い方

本機は、ディスクごとのCUEポイントやLOOPポイントを、内蔵メモリーおよびマルチメディアカード(MMC)に記憶できます。



内蔵メモリーを使う

マルチメディアカード(MMC)を本機のカード挿入口に差し込んでいない場合は、内蔵メモリーが有効になります。
内蔵メモリーには、ディスク1枚あたり10ポイントのCUE/LOOPポイントがディスク100枚分まで記憶できます。ディスク100枚分を超えると、古いディスクの記憶から消去されます。

- LOOPは1つで2ポイント(IN/OUT)になります。

■CUEポイントを記憶する

1. AUTO CUE機能またはCUEボタンでCUEポイントを入力する。
2. CUEポイントで待機中(プレイした場合はバックCUEする)にCUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部に「MEMORY」と表示され、CUEポイントが記憶されます。
   - カレンダー表示部および再生位置表示部にCUEポイントが赤色で表示されます。

■LOOPポイントを記憶する

1. LOOPのIN／OUTポイントを入力してLOOP演奏する。
2. LOOP再生中にCUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部に「MEMORY」と表示され、LOOP IN/OUTポイントが記憶されます。
   - カレンダー表示部および再生位置表示部にLOOP INポイントが赤色で表示されます。

■記憶したCUE/LOOPポイントの呼び出し

CUE/LOOPポイントが記憶されていると、カレンダー表示部および再生位置表示部に赤色で表示されます。

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - CALLボタン(▶)押すと、ディスクの初めの方から順番にCUE/LOOPポイントが呼び出され、CUE/LOOP INポイントで待機します。
2. PLAY/PAUSEボタン(▶/❚❚)を押す。
   - プレイ／ループプレイを開始します。

■CUE/LOOPポイントの記憶を消去する

CUE/LOOPポイントが記憶されていると、カレンダー表示部および再生位置表示部に赤色で表示されます。

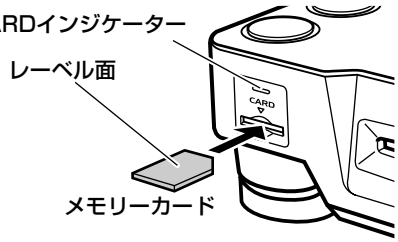
1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - CALLボタン(▶)押すと、ディスクの初めの方から順番にCUE/LOOPポイントが呼び出され、CUE/LOOP INポイントで待機します。
2. 呼び出したポイントで待機中にCUE/LOOP DELETEボタンを押す。
   - 表示部に「DELETE」と表示されてCUE/LOOPポイントが消去されます。
   - カレンダー表示部および再生位置表示部のCUE/LOOP INポイント表示が消灯します。

メモリーカードを使う

マルチメディアカード(MMC)を本機のカード挿入口に差し込むと、外部メモリー(MMC)が有効になります。ディスク1枚あたりCUE/LOOPポイントが100ポイント、ホットスタートが3ポイント、WAVEが20曲まで記憶でき、8MバイトのMMCにはディスク5,000枚分、16MバイトのMMCにはディスク10,000枚分まで記憶できます(16Mバイト以上のMMCを使用しても、記憶できるのはディスク10,000枚分までになります)。

- LOOPは1つで2ポイント(IN/OUT)になります。

■メモリーカードの入れ方



メモリーカードは、レーベル面を上に、切り欠きを先にして、水平にゆっくりと、止るまで差し込んでください。

●取り出すとき

CARDインジケーターが消灯している時に、一度押し込んで戻ってきた後、まっすぐ、ていねいに引き抜いてください。

ご注意

- **メモリーカードにアクセス中は、CARDインジケーターが点灯します。点灯中にカードを取り出したり、電源を切らないでください(記憶データが壊れる恐れがあります)。**
- **マルチメディアカードを使用中に「MMC I/O Err」と表示された場合は、一度カードを取り出してから、再度入れてください。**
- **マルチメディアカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。また、静電気や電気ノイズの発生しやすい環境で、使用・保管しないでください。**
- **マルチメディアカードは衝撃や静電気により壊れることがあります。取り扱いには注意をお願いします。大切なデータは定期的に複製を作ることをおすすめします。☞P.17**

■初めて使うマルチメディアカードの場合

はじめて本機で使用するマルチメディアカードはフォーマット作業が必要になります。

1. マルチメディアカード(MMC)をメモリーカード挿入口に差し込む。
   - 表示部に「FORMAT? PUSH MEMORY」と表示されます。
2. フォーマットを行う場合はMEMORYボタンを押す。
   - 「FORMAT」と表示し、フォーマットを実行します。
   - フォーマットを行わない場合はカードを取り出します。
   - 一度カードをフォーマットすると、以前に記憶されていたデータは読み出せなくなります。

■CUEポイントを記憶する
マルチメディアカードをメモリーカード挿入口に差し込んだ後、内蔵メモリーを使う手順と同様に行います。☞P.16

■LOOPポイントを記憶する
マルチメディアカードをメモリーカード挿入口に差し込んだ後、内蔵メモリーを使う手順と同様に行います。☞P.16

■記憶したCUE/LOOPポイントの呼び出し
マルチメディアカードをメモリーカード挿入口に差し込んだ後、内蔵メモリーを使う手順と同様に行います。☞P.16

■CUE/LOOPポイントの記憶を消去する
マルチメディアカードをメモリーカード挿入口に差し込んだ後、内蔵メモリーを使う手順と同様に行います。☞P.16

■ディスクデリート
そのディスクに関する記憶をすべて消去します。

1. ディスクを入れる。
   - CUE/LOOPポイント等の記憶を消去したいディスクを入れてください。
2. マルチメディアカード(MMC)をメモリーカード挿入口に差し込む。
   - CUE/LOOPポイントが記憶されていると、カレンダー表示部および再生位置表示部に赤色で表示されます。
3. CUE/LOOP DELETEボタンを5秒間以上押す。
   - 表示部に「DISC DELETE? PUSH MEMORY」と表示されます。
4. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部に「DELETE」と表示され、そのディスクのCUE/LOOPポイントがすべて消去されます。
   - カレンダー表示部および再生位置表示部のCUE/LOOP表示がすべて消灯します。

■カードフォーマット
そのMMCのすべての記憶を消去します。

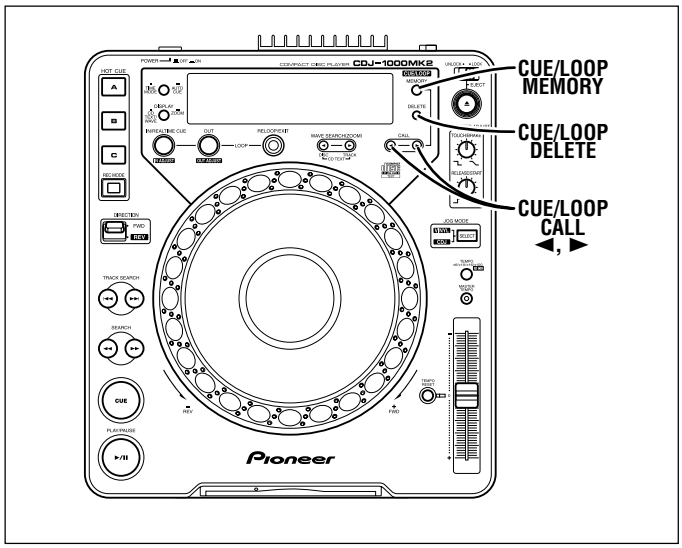
1. ディスクを取り出す。
2. マルチメディアカード(MMC)をメモリーカード挿入口に差し込む。
3. CUE/LOOP DELETEボタンを5秒間以上押す。
   - 表示部に「FORMAT? PUSH MEMORY」と表示されます。
4. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部に「FORMAT」と表示され、そのカードのすべて記憶が消去されます。

■CUE/LOOP以外でMMCに記憶されるもの
- **ホットキューポイントA、B、C**

ホットキューポイントA、B、Cは、自動的にMMCに記憶されます。ディスク挿入時に記憶されている場合は、A、B、Cが緑色で点滅します。メモリーされているホットキューポイントをコールする場合はA、B、Cボタンを押してください。緑色の点滅が点灯に変わります(コールする場合、瞬時に音は出ません)。コールする必要がない場合は、HOT CUE REC MODEボタンを押してください。インジケーターが赤色に変わり、ホットキューポイントが設定できる状態になります。(MMCにメモリーされているホットキューポイントをコールしたい場合は、ディスクまたはMMCを一度取り出し、再び挿入してA、B、Cボタンが点滅しているときにコールしてください。)

- **WAVE表示**

一曲分のWAVE表示が完了すると自動的にMMCに記憶されます。同じ曲を再生すると自動的に記憶されているWAVE表示が呼び出されて表示されます。トラックナンバー21曲目以降はMMCに記憶されません。



MMCデータのコピー(MMCからMMCへの複製)

コピー元のMMC(CARD A)の記憶内容を、コピー先のMMC(CARD B)にコピーします。

1. ディスクを取り出す。
2. カードを取り出す。
3. CUE/LOOP MEMORYボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「MMC > MMC(OVERWRITE)、CARD A IN」と表示されます。
4. コピー元のMMCをカードスロットに挿入する。
   - 表示部に「READING」と表示されます。
5. 数分後、表示部に「CARD B IN」と表示されたら、コピー元のMMCを取り出して、コピー先のMMCを挿入する。
   - 表示部に「WRITING」と表示されます。
6. 数分後、表示部に「CARD A IN」と表示されます。
7. コピーが終了するまで4～6の操作を8Mカードで2回、16Mカードで4回繰り返します。
   - コピーが終了すると「COMPLETE」と表示されます。
   - コピー元のカードより容量の小さいカードへのコピーはできません。

内蔵メモリーのコピー(内蔵メモリーからMMCへの複製)

内蔵メモリーの記憶内容をMMCにコピーします。

1. ディスクを取り出す。
2. カードを取り出す。
3. CUE/LOOP MEMORYボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「MMC > MMC(OVERWRITE)、CARD A IN」と表示されます。
4. もう一度CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 表示部に「INT > MMC(OVERWRITE)、CARD IN」と表示されます。
5. コピー先のMMCを挿入する。
   - 表示部に「WRITING」と表示されます。
   - コピーが終了すると「COMPLETE」と表示されます。

※ 表示部に「Err」と表示される場合は、データのコピーが正しく完了していません。双方のプレーヤーの電源を入れ直して、再度手順1からやり直してください。
※ MMCからMMCへの複製、内蔵メモリーからのMMCへの複製のどちらの場合も、コピー先のMMCのデータは上書きされますので、以前に記憶していたデータは完全に消去されます。
※ DIGITAL OUTモードが「DJ」の状態で行ってください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われています。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。
下の項目をチェックしても直らない場合はお買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症　状	考えられる原因	処　置
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	● 電源コードがつながっていない。 ● イジェクトモード切換スイッチがLOCK位置になっている。	● 電源コンセントへつなぐ。 ● ポーズ状態またはキュースタンバイ状態にしてからEJECTボタンを押す。 ● イジェクトモード切換スイッチをUNLOCK位置にしてからEJECTボタンを押す。
ディスクを入れても再生が始まらない。	● オートキュー機能がオンになっている。	● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。
再生をはじめてもすぐに停止してしまう。	● ディスクの表と裏を逆にして装着している。 ● ディスクのくもりなど。	● レーベル面を上にして装着する。 ● ディスクのくもりをふき取る。
音が出ない。	● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。 ● オーディオミキサーを正しく操作していない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。	● 正しく接続する。 ● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	● 出力コードが正しく接続されていない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。	● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。再生が中断してしまう。	● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れをふき取る。
オートキュー機能をオンにしていて、トラックサーチが終了しない。	● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。 ● 無音部分が10秒以上続くような場合、オートキュー機能がオフでないと演奏しない。	● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。
再生中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	● キューポイントを設定していない。 ● DIGITAL OUT モードスイッチが「NORMAL」になっている。	● キューポイントを設定する。(12ページ参照) ● DIGITAL OUT モードスイッチを「DJ」にする。
LOOP OUTボタンを押してもループプレイにならない。	● キューポイント(スタートポイント)を設定していない。 ● DIGITAL OUT モードスイッチが「NORMAL」になっている。	● キューポイントを設定する。 ● DIGITAL OUT モードスイッチを「DJ」にする。
ジョグダイヤルが機能しない。 ジョグダイヤルが希望の機能と違う動作をする。	● DIGITAL OUT モードスイッチが「NORMAL」になっている。 ● ジョグモード(VINYL/CDJ)が違う。	● DIGITAL OUT モードスイッチを「DJ」にする。 ● JOG MODE SELECTボタンを押して、希望の機能のジョグモード(VINYL/CDJ)を選ぶ。
DJ操作できない。	● DIGITAL OUT モードスイッチが「NORMAL」になっている。	● DIGITAL OUT モードスイッチを「DJ」にする。
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	● 本機が影響している。	● 本機の電源を切るか、テレビから離す。
電源ONの状態でディスクが停止している。	● ポーズ状態で80分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。 ● ディスクの最終曲が終了すると、ディスクの回転を停止します。	● PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押すと演奏を開始します。また、EJECTボタン(▲)を押すとディスクが出てきます。

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク(パーシャリーディスク)の再生はできません。
- 本機は一般の12cmディスクおよびアダプターを装着した8cmディスク以外の異形ディスクの再生はできません。(故障・事故の原因になることがあります。)
- 本機でアダプターを装着した8cmディスクを使用すると、12cmディスク使用時に比べてスクラッチ、リバース等の動作スピードが低下することがあります。本機はディスクを高速で回転して高いパフォーマンスを得てますが、アダプターを装着した8cmディスクの場合に安全のために回転速度を下げるためであり、故障ではありません。
- 本機で測定したBPM値が、CDの記載値や当社のDJミキサー等と異なる場合がありますが、これはBPMの測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- CD-R/RWディスクの場合、記録品質によりパフォーマンスが低下することがあります。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E−72 01	TOC READ ERROR	TOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 →ディスクを交換する。
E−83 01 E−83 02 E−83 03	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	ディスクが汚れている。 →ディスクをクリーニングする。 他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
E−91 01	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	ディスク挿入部に異物が入っている。 →異物を取りのぞく。

保証とアフターサービスについて

保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

● **保証期間について**
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。

● **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

● **保証期間中は**
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

連絡していただきたい内容
- ご住所 ・ ご氏名 ・ 電話番号
- 製品名 ・ 型番 ・ ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

● **保証期間が過ぎているときは**
お買い求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

MMCに記録されたデータについて

MMC(マルチメディアカード)の取り扱いについては、お客様の管理の元で定期的に複製を作ることをおすすめします。
万一、本機やMMCの不都合または静電気など外的要因などによってMMC内のデータが破壊・消失した場合、データの補償やそれに付随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

ジョグダイヤルのお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはがれたり、くもったりすることがありますのでご注意ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口 ： **0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口 ： **0070-800-8181-33**

ファックス ： **03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル） ： **0120-5-81095**

一般電話 ： **0538-43-1161**

ファックス（フリーダイアル）： **0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル） ： **0120-5-81028**（ゴーパイオニア）

一般電話 ： **03-5496-2023**

ファックス（フリーダイアル）： **0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00 （土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話 ： **098-879-1910**

ファックス ： **098-879-1352**

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

©2003パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TSZZW/04G00000>　Printed in　<DRA1389-C>